

## <白金標準先物、見直し相場へ移行し 4200 円で底固め・・・>



(出所：オアシス)

消費者信頼感指数（CPI）や生産者物価指数（PPI）の発表を受けた FRB による利上げが近い将来に終了する観測が広がる中で、金価格の上昇に下げ渋る展開を見せていた白金価格は、13 日に世界のプラチナ生産で 7 割を占める南アフリカで国営電力会社エスコムが 6 つの発電ユニットが故障し「ステージ 6」の負荷制限を発表している。特に 1000 ドルで下げ渋っていた NY 白金にとって供給要因の後押しを得た形であり、今年 1 月以来の 1050 ドルを超え 1070 ドルまで高値を試している。そのため白金標準先物も 4400 円を回復すると週末には 4414 円まで高値を試す値動きを見せている。

特に週末は、金価格が金利高・ドル高の巻き戻しを受けた下落を行うなど、白金価格も高値追いが抑えられた値動きを見せている。しかし WPIG はプラチナの見方で南アフリカの電力不足と対ロシア制裁で供給が大幅に制限、自動車の PGM 需要はガソリンエンジンにおける代替の動きにより今後も成長し、パラジウムとプラチナのマーケットバランスと価格のミスマッチが代替の動きを加速させ、投資需要は 2 年間のネガティブ需要を経てポジティブに転じる見通しを挙げており、目先の調整が終わっても 4200 円を維持しながら 12 月限の高値 4558 円を新甫限月で試して来る可能性があると思われる。

### <テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** と **シグナル** が上昇している。RCI では **短期** が維持する中で **長期** が上昇を続けており、強気の継続を示唆する動きに思える。ただ日足が **10 日移動平均線** との乖離を拡大させており、高値が止まる可能性は秘めており、飛び付き買いは避けながら 4200 円に近付けて買いの対応が妥当と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,670,000 円(2023 年 4 月 17 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 40,700 円(2023 年 4 月 17 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>